

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	一般社団法人日本競輪選手会北海道支部 自転車競技普及・振興事業補助金 (旧・日本競輪選手会北海道支部補助金)	開始 年度	昭和28年度
----------------	--	----------	--------

団体名	一般社団法人日本競輪選手会北海道支部
-----	--------------------

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則, 一般社団法人日本競輪選手会北海道支部自転車競技普及・振興事業補助金交付要綱
-------------------------	---

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	・国体強化合宿，インターハイ予選会合宿等における指導・教育 ・国体等アマチュア競技大会への競技役員等の派遣 ・特別教養訓練，自主訓練，合宿訓練 ・記録会，研修会　・各種競技大会への選手の派遣
目 的	(目 的) 北海道における自転車競技者の競技技術および資質の向上を図る活動を行い， 自転車競技の普及・振興および競輪の健全な発展に寄与することを目的とする。
・ 効 果	(効 果) 国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図り， 北海道からオリンピック日本代表の輩出するなど自転車競技の普及振興が期待 できる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		会費	雑収入	繰越金		計
		市	その他					
収 入	26	1,000		4,807	1,169	4		6,980
	27	1,000		4,944	1,099	2		7,045
	28	1,000		5,203	2,475	3		8,681
	29	1,000		2,826				3,826
	30	1,000		2,770				3,770
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	雑費		計
	26	3,542	490	1,730	474	744		6,980
	27	3,663	700	1,353	499	830		7,045
	28	3,334	457	3,828	346	711		8,676
	29			3,826				3,826
	30			3,770				3,770

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	一般社団法人日本競輪選手会北海道支部 自転車競技普及・振興事業補助金 (旧・日本競輪選手会北海道支部補助金)
----------------	--

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図り、自転車競技の普及振興に寄与している。競輪選手の競技技術および資質の向上を図り、競輪の健全な発展に寄与することが目的であり、特に地元選手の活躍は集客に大きく影響を及ぼし売上に直結することから、公共の福祉への貢献にもつながっている。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	当該団体は、国体等の北海道代表選手の育成等を図り、自転車競技の普及振興に寄与しているとともに、本市競輪の健全な発展に大きな役割を担っており、その活動は売上にも直結することから、公共の福祉への貢献にもつながっている。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	収益事業として売店収入の強化等努力をしている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	アマチュア選手の指導・教育をするとともに、競輪事業の健全な発展と運営を円滑にし、自転車競技の普及・振興に寄与していることから補助することが最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート(No.3)

補助金名 (交付金名)	一般社団法人日本競輪選手会北海道支部 自転車競技普及・振興事業補助金 (旧・日本競輪選手会北海道支部補助金)
----------------	--

○補助効果の検証

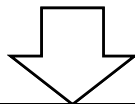
(効果測定方法、具体的な数値等)

国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図り、自転車競技の普及振興に寄与している。競輪選手の競技技術および資質の向上を図り、競輪の健全な発展に寄与することが目的であり、特に地元選手の活躍は集客に大きく影響を及ぼし売上に直結することから、公共の福祉への貢献にもつながっている。

(達成状況)

国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上などを図ったことにより、北海道からオリンピック日本代表の輩出や競輪学校への入学者が出るなど自転車競技の普及振興に寄与している。また、プロ競技者としての意識の高揚に努め、日常訓練・特別訓練・新人選手育成等を着実にを行い、全日本プロ選手権・北日本地区プロ競技大会に参加し、競輪の健全な発展と運営に寄与したことにより、売上の確保、ひいては公共の福祉へ貢献している。

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評 価)	(理 由)
十分効果をあげている ☒	国体・インターハイ等の北海道代表選手の育成と強化および競技力向上を図ったことにより、北海道からオリンピック日本代表の輩出や競輪学校への入学者が出るなど自転車競技の普及振興に寄与している。また、プロ競技者としての意識の高揚に努め、日常訓練・特別訓練・新人選手育成等を着実にを行い、競輪事業の健全な発展と運営に寄与したことにより、売上の確保、ひいては公共の福祉へ貢献している。
一定の効果をあげている ☐	
効果が疑問である ☐	
その他 ☐	

○今後の方向性

☒	現行のまま補助を継続
☐	見直したうえで補助を継続
☐	廃止
☐	その他

(見直しの内容)

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定
平成 33 年度

☐	終期到来により廃止
☒	終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)
平成 33 年度